

総合工学委員会 原子力安全に関する分科会（第24期・第8回）  
議事録

1. 日時 平成31年4月11日（木）13:00～15:00

2. 場所 日本学術会議6階 6-C(1)会議室

3. 出席者

【委員】矢川元基、上坂充、佐倉統、柴田徳思、関村直人、松岡猛、向殿政男、森口祐一、山地憲治、成合英樹、野口和彦

【事務局】柳原情子

4. 配布資料

資料1-1 第6回分科会議事録

資料1-2 第7回議事録（メール審議）議事録

資料2-1 福島第一原発事故調査に関する小委員会報告

資料2-2 研究用原子炉の在り方検討小委員会報告

資料2-3 原発事故による環境汚染調査に関する検討小委員会報告

資料3 マスタープラン申請案

資料4 学術の動向申請案

5. 議題

1) 前回議事録確認

第6回、7回（メール審議）議事録が、本会合において承認された。

また、運営費用の問題も含めて今後の開催方式について議論され。スカイプの活用も進め、年3回を目処に開催していくことになった。

2) 小委員会からの報告

(1) 福島第一原発事故調査に関する小委員会報告

・松岡小委員会委員長より資料2-1を用いて活動報告があった。

・報告「我が国の原子力発電所の津波対策 ―東京電力福島第一原子力発電所事故前の津波対応から得られた課題―」について、第276回幹事会で説明を実施、指摘事項受け、修正を行っているとの報告があった。

・新規知見については、現在「提言 我が国における新知見への取り組み―福島第一原子力発電所事故の反省と教訓から得たもの―」を準備中であるとの報告がなされた。

(2) 研究用原子炉の在り方検討小委員会報告

・上坂委員より、資料2-2により、研究用原子炉の在り方検討懇話会の報告があった。

・小委員会で、国内研究炉、アメリカの研究炉、もんじゅサイトの試験炉について調査を行っている旨の報告があった。

・原子力原子力学会「研究炉分科会」で、研究炉のグレードアップアプローチの整備についての説明が行われた。

・学術会議マスタープランに関して、JRR-3の利用の高度化による先進中性子科学の推進をテーマとしたマスタープラン応募に関する説明がなされた。

(3) 原発事故による環境汚染調査に関する検討小委員会報告

- ・森口委員より、資料2-3を用いて活動に関する報告があった。
- ・ワーキンググループの活動として、放射線・放射能測定データアーカイブズWG、事故と環境情報の交流WGの報告があった。
- ・委員より、検討結果は学術会議として「報告」として記録に残すべきであるという意見がだされた。

(4) 原子力総合シンポジウムのテーマ検討

- ・学術会議が主催する原子力総合シンポジウムの今年の開催テーマについて議論が行われ、原子力連絡小委員会にて検討することとなった。

3) 今後の進め方に関する議論

(1) 原子力総合シンポジウム・学術会議マスタープランの検討

- ・学術会議マスタープランについての寄与について説明が行われた。

4) その他

(1) 次回日程

2019年7月24日